

○ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの

区分	☒ 新規 ☐ 再提案 (・ ・ 第 回総会 ; 市)		
種類	☐ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの ☒ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの ☐ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの ☐ その他 ()		分野 ☐ 総務文教 ☐ 社会環境 ☐ 経済 ☒ 危機管理建設
要望先	☒ 国	担当省庁	内閣府
	☒ 県	担当部局	危機管理部
	☐ その他	名 称	
件名	18 糸魚川－静岡構造線断層帯地震の映像資料の制作について		
提案市	茅野市		
提案要旨	糸魚川－静岡構造線断層帯を震源とする内陸性直下型地震の恐ろしさを映像化し、住民に災害に対する危機意識を常に高く保ってもらうため、シミュレーション映像（CG）の制作を要望する。		
提案理由	長野県内に非常に大きな被害が発生する恐れがある地震の中でも、糸魚川－静岡構造線断層帯を震源とする内陸性直下型地震は、その発生確率、規模ともに群を抜いて深刻である。 一方、地震に対する備えは、被害軽減に直結する住宅等の耐震化や、家具の転倒防止対策などが、なかなか進まないのが現状である。対策が進まない大きな理由は、危機感の不足が考えられるためであり、発生が予想される具体的な事態を視聴してもらうために、シミュレーション映像の制作を要望する。		
現況及び課題等	内閣府では、南海トラフ巨大地震と首都直下地震（相模トラフ）については、「そのとき何が起こるのか？」というサブタイトルを付けた映像をそれぞれ制作し、公開している。 海溝型地震では、上記の地震が深刻だが、全国の主要活断層の長期評価（政府地震調査研究推進本部発表）では、糸魚川－静岡構造線断層帯が、発生確率（全体では30～40%）、規模（最大M8.1）ともに、他の活断層と比較しても非常に深刻であり、早期の対策推進が必要である。		
関係法令			